

[パターンの分類]

I. Diatonic Pattern

(パターン1～15)

diatonic (その調の構成音を積み重ねた和音) からなる

⇒分かりやすく一般的なコードイメージのため、入門コースとして使用

II. Non-Diatonic 〈mode motion〉 Pattern (パターン16～21)

non - diatonic (その調の構成音以外の和音を含む旋法的アプローチ) からなる
教会旋法 (church mode) からヒントを得た

⇒一時的な転調感や独特な雰囲気演出できる、即興時、音設定に注意を要す

III. Beatles Chord Pattern

(パターン22)

Beatles の楽曲をヒントとした mode motion、ブルース、ペンタトニック、
マイナー・メジャー、などが混在したもの

⇒“どこかしらずれた感じ” のパターンのため、上級コースとして使用

IV. Blues, Jazz, Bossa Nova Pattern

(パターン23～28)

音楽の意匠 (スタイル) によったもの

⇒リズム性におけるノリを大切に、また“ファ抜きにする” など音設定に注意

V. 響き 〈Hibiki〉 Chord Pattern

(パターン29～30)

i) Pentatonic (+One=シ) Chord パターン

各コードの第3音を抜きコード機能を弱め、
ファ音を抜いたペンタトニック的アプローチ

⇒オリエンタルな雰囲気合わせやすい

ii) Zebra 〈黒鍵；根音+白鍵；ペンタトニック〉 Chord パターン

不協和音 (半音や2度音) を意図的に組み入れた多調 (ポリ・トナリティ) 的アプロ
ーチで、コード (和声) 機能を更に弱めた

⇒“合っているのかな、いないのかな?” という雰囲気であるが、

音楽的には複雑な印象であり、通常のコードの響きにはない深さも感じさせる